



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 アイティメディア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2148 URL <https://corp.itmedia.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 大槻 利樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 兼 管理本部長 (氏名) 加賀谷 昭大 TEL 03-6893-2148  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,103	27.2	869	77.4	827	133.6	555	73.7	555	74.8	1,042	346.5
2020年3月期第2四半期	2,440	12.5	490	50.9	354	16.4	319	82.0	318	75.0	233	△25.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	28.05	28.05
2020年3月期第2四半期	16.15	16.08

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,377	6,811	6,811	81.3
2020年3月期	7,235	5,887	5,887	81.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,380	20.9	1,730	47.6	1,120	43.5	56.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	20,532,600株	2020年3月期	20,532,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	713,074株	2020年3月期	713,036株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	19,819,545株	2020年3月期2Q	19,690,564株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）8ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、2020年10月30日に当社ホームページ（<https://corp.itmedia.co.jp/>）に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	10
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～9月30日、以下「上期」)の売上収益は、31億3百万円(前年同期比6億63百万円増)となり、過去最高となりました。テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のオンラインシフトを受け、リードジェン事業、メディア広告事業がともに大きく成長しました。特にリードジェン事業においては、展示会やセミナー等をオンラインで実現するデジタルイベント関連の収益が大きく拡大しました。

営業利益については、上期として過去最高の8億69百万円(前年同期比3億79百万円増)となりました。デジタルイベントなど成長領域へのコスト投入を継続しておりますが、増収により各セグメントで利益率が上昇しました。

以上の結果、上期の経営成績につきましては、売上収益は31億3百万円(前年同期比27.2%増)、営業利益は8億69百万円(同77.4%増)、四半期利益は5億55百万円(同73.7%増)および親会社の所有者に帰属する四半期利益は5億55百万円(同74.8%増)となりました。また、四半期包括利益合計は、FVTOCIの資本性金融資産の変動4億87百万円(前年同期は△86百万円)により、10億42百万円(同346.5%増)となりました。

連結経営成績の概況

(単位：百万円)

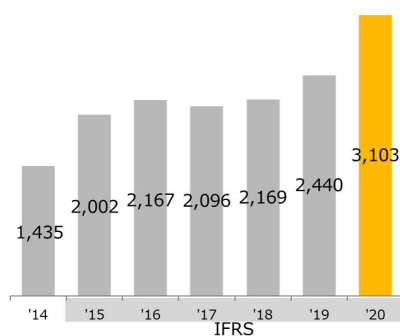
	前第2四半期 (2019年4月～9月)	当第2四半期 (2020年4月～9月)	増減額	増減率(%)
売上収益	2,440	3,103	+663	+27.2
EBITDA <sup>※1</sup>	652	1,033	+381	+58.4
営業利益	490	869	+379	+77.4
税引前利益	354	827	+473	+133.6
継続事業からの四半期利益	226	555	+329	+145.5
非継続事業からの四半期利益	93	—	△93	—
四半期利益	319	555	+235	+73.7
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	318	555	+237	+74.8
四半期包括利益合計	233	1,042	+809	+346.5

※1 EBITDA: 営業利益+減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損-その他の一時収益+その他の一時費用

2 前第2四半期連結累計期間(2020年3月期第2四半期)の業績について:

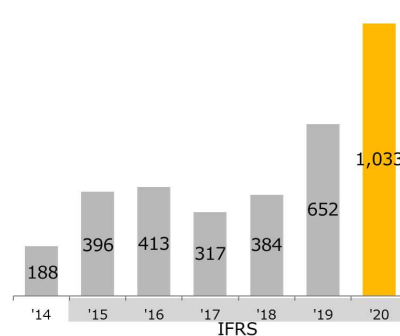
2019年6月28日付でのナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡に伴い、2019年3月期個別決算にて計上しておりました同社貸付金等に対する貸倒引当金を連結決算に反映したことにより、貸倒引当金繰入額96百万円をその他の営業外損益として計上しております。一方で同社事業および株式譲渡に関連する損益は非継続事業に区分のうえ、非継続事業からの四半期利益93百万円を計上しております。

■売上収益

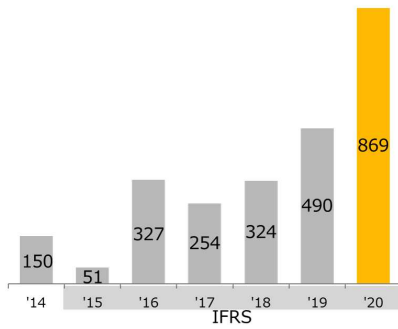


■EBITDA

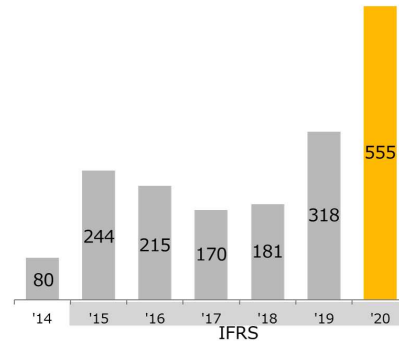
(単位：百万円)



■営業利益



■親会社の所有者に帰属する四半期利益



報告セグメント別の概況

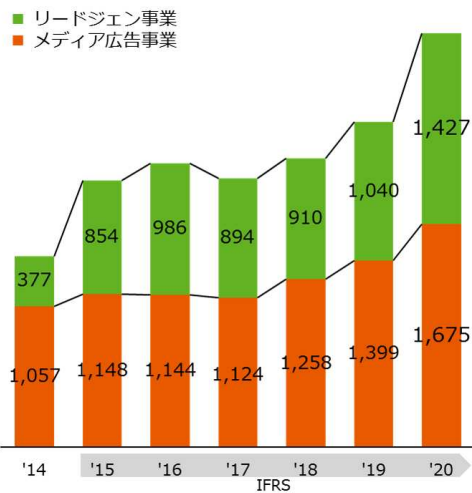
(単位：百万円)

	前第2四半期 (2019年4月～9月)	当第2四半期 (2020年4月～9月)	増減額	増減率 (%)
リードジェン事業				
売上収益	1,040	1,427	+387	+37.2
EBITDA	285	461	+176	+61.9
営業利益	195	367	+171	+87.6
メディア広告事業				
売上収益	1,399	1,675	+276	+19.7
EBITDA	367	572	+204	+55.6
営業利益	294	502	+207	+70.7

リードジェン事業：専門メディア群から得られるデータを活用して特定のB2B商材に関心の高いユーザーを判別し、顧客企業に見込み客リストとして提供する事業

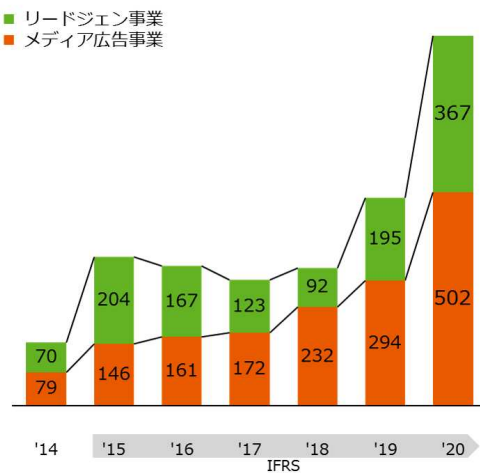
メディア広告事業：自社運営メディアの広告枠、およびメディアコンテンツを活用した企画商品を販売する事業

■セグメント別売上収益



■セグメント別営業利益

(単位：百万円)

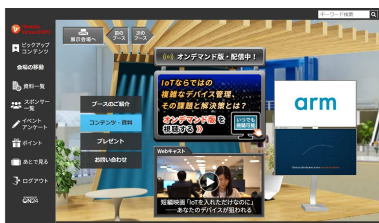


■当第2四半期のリードジェン事業

リードジェン事業の売上収益は14億27百万円（前年同期比37.2%増）、営業利益は3億67百万円（同87.6%増）となり、ともに過去最高となりました。

テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のオンラインシフトによる顧客の需要拡大を背景に、大きな成長を実現しています。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、展示会やセミナー等の開催が見送られるなか、そうしたイベントをオンラインで実現するデジタルイベント関連の売上収益が急拡大しており、新たな成長軸として注力しております。

- ・ 9月に開催したモノづくりの最新テクノロジーやソリューションが集う国内最大級のバーチャル展示会「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」は、過去最大の規模となり、デジタルイベント関連の売上収益拡大に貢献しました。
  - － 出展社数：116社
  - － 来場者数：12,687名



- ・ 登録会員数は97万人となり、前年同期比11.3%増加しました。
- ・ システム開発会社向けの案件紹介サービスを提供する発注ナビ株式会社では、加盟社が2,000社を超え、その影響力が拡大しております。各領域の有力企業である、株式会社ビズリーチ（M&A支援）、OLTA株式会社（ファクタリング）、株式会社ビーアライブ（エンジニア採用）、日本マイクロソフト株式会社（クラウドプラットフォーム）、GMOペイメントゲートウェイ株式会社（ファクタリング）等の協力の下、加盟社向けのサービスを拡充し、システム開発会社向けの総合的な事業支援サービスとして強化を進めています。

リードジェン事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	「TechTargetジャパン」 <a href="https://techtarget.itmedia.co.jp/">https://techtarget.itmedia.co.jp/</a>	IT関連製品やサービスの導入・購買を支援する情報並びに会員サービス	企業の情報システムの導入に意思決定権を持つキーパーソン
	「キーマンズネット」 <a href="https://www.keyman.or.jp/">https://www.keyman.or.jp/</a>		
	「発注ナビ」 <a href="https://hnavi.co.jp/">https://hnavi.co.jp/</a>	情報システム開発会社検索・比較サービス	企業情報システム開発の発注担当者
	「ITmedia マーケティング」 <a href="https://marketing.itmedia.co.jp/">https://marketing.itmedia.co.jp/</a>	デジタルマーケティングの最新動向や製品・サービスの情報	企業のマーケティング活動に携わる担当者

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
産業テクノロジー分野	「TechFactory」 <a href="https://techfactory.itmedia.co.jp/">https://techfactory.itmedia.co.jp/</a>	製造業のための製品／サービスの導入・購買を支援する会員制サービス	製造業に従事するエンジニアや製品・サービス導入担当者
	デジタルイベント <a href="https://promotion.itmedia.co.jp/service/online_event">https://promotion.itmedia.co.jp/service/online_event</a>	展示会やセミナーなどのイベントをオンラインで開催するサービス	

・当第2四半期における掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

「クラウド時代のネットワーク最適化

“遅いMicrosoft 365”の真犯人、残念な「社内ネットワーク」が招く2つの問題」 TechTargetジャパン 2020年7月15日公開

クラウドサービスの利用はもはや当たり前の選択肢になりました。ただクラウドサービスへの移行に伴う社内ネットワークの問題は、まだ広く認識されているとは言えません。どのような問題があるのでしょうか。

<https://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/2006/17/news05.html>

「新Microsoft 365は何がどうなった？ 図解で分かるライセンス選び方ガイド」 キーマンズネット 2020年6月8日公開

2020年4月22日、Microsoftは「Office 365」を「Microsoft 365」と統合した。しかし、Office 365の名称は完全になくなったわけではない。大企業向けプランにはまだOffice 365の名称のついたプランが存在する。これがライセンスの理解を難しいものとしているようだ。

<https://www.keyman.or.jp/kn/articles/2006/08/news022.html>

「大原雄介のエレ・組み込みプレイバック：Arm再売却の予想と、Intel TMGの行方」 TechFactory 2020年8月5日公開

エレクトロニクス／組み込み業界の動向をウオッチする連載。今回は、2020年7月の業界動向の振り返りとして、SoftBankがArmの売却に動いている件についての見解と、Intelの半導体製造を担うTMG (Technology and Manufacturing Group) についてお届けする。

<https://techfactory.itmedia.co.jp/tf/articles/2008/05/news028.html>

「「営業のデジタルシフト」について語ろう【前編】：

NECが取り組む営業のデジタルシフト 「会えば何かが起こる」から「先に課題を提示できる」営業へ」

ITmedia マーケティング 2020年7月7日公開

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴い企業活動の在り方も大きな変更を迫られている。営業職の従事者は「人との接触を避けるべし」という難題を突きつけられた。そこで一気に進もうとしているのがデジタルシフトだ。NECの取り組みはどうなっているのか。

<https://marketing.itmedia.co.jp/mm/articles/2007/07/news111.html>

「請負契約とはどんな契約？システム開発におけるメリット・デメリットとは？」 発注ナビ 2020年9月8日公開

業界や業務によって、交わされる契約の種類が異なりますが、数ある契約形態の中でも、システム設計やプログラミングなどの依頼に適した「請負契約」について学んでおきましょう。

<https://hnavi.co.jp/knowledge/blog/service-contract/>

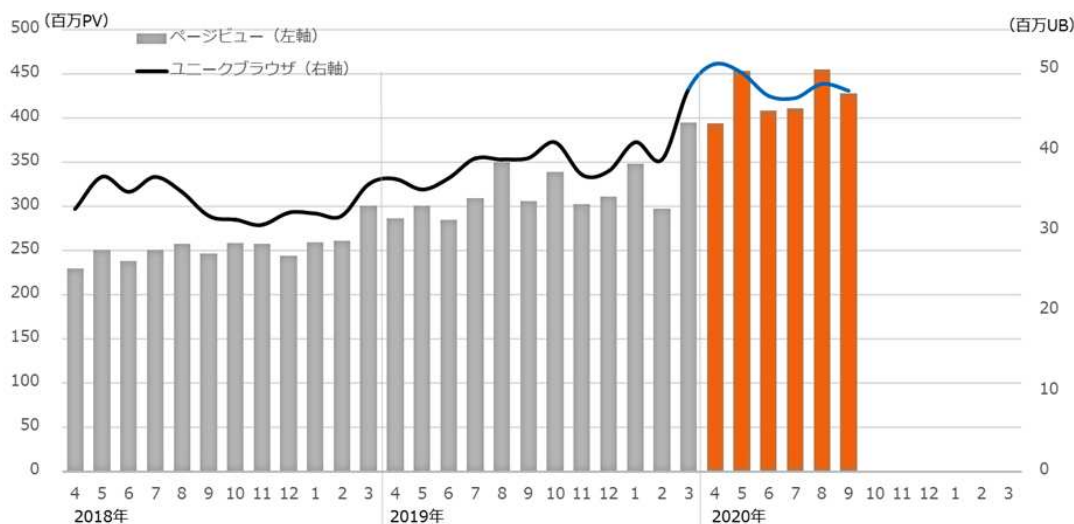


■当第2四半期のメディア広告事業

メディア広告事業の売上収益は16億75百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益は5億2百万円（同70.7%増）となり、ともに過去最高となりました。

テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のオンラインシフトを背景に、特に企業の業務システム等のビジネス領域における顧客の需要が拡大したこと、および各メディアのページビュー※3が大きく増加するなど、読者側のインターネット利用も活性化したことで成長しています。

- ・全社のメディア力を図る指標であるページビュー(PV)、ユニークブラウザ※4(UB)の当第2四半期連結会計期間での最高値はそれぞれ、ページビューが月間4.5億PV（過去最高）、ユニークブラウザが月間4,800万UBとなっております。
- ・ねとらぼは、2020年8月に月間3.7億PVを超過し、過去最高記録を更新しております。



※3 ページビュー : あるウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す単位のひとつ。1ページビューとは、あるウェブサイトを開覧しているユーザーのブラウザに、そのウェブページが1ページ分表示されることを指します。通常、ウェブサイトを見ているユーザーは、サイト内の複数のページを開覧するため、そのサイトを訪問した実質のユーザー数（ユニークブラウザ数）よりもページビュー数のほうが数倍多くなります。

※4 ユニークブラウザ : ウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す指標のひとつ。1ユニークブラウザとは、ある一定期間内にウェブサイトへアクセスされた、重複のないブラウザ数を指します。ウェブサイトの人気や興味の度合い、その推移を判断する指標として広く用いられています。

メディア広告事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	「@IT」 <a href="https://www.atmarkit.co.jp/">https://www.atmarkit.co.jp/</a> 「@IT自分戦略研究所」 <a href="https://www.atmarkit.co.jp/ait/subtop/jibun/">https://www.atmarkit.co.jp/ait/subtop/jibun/</a>	専門性の高いIT関連情報・技術解説	システム構築や運用等に携わるIT関連技術者
	「ITmedia NEWS」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/news/">https://www.itmedia.co.jp/news/</a> 「ITmedia エンタープライズ」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/enterprise/">https://www.itmedia.co.jp/enterprise/</a> 「ITmedia エグゼクティブ」 <a href="https://mag.executive.itmedia.co.jp/">https://mag.executive.itmedia.co.jp/</a>	IT関連ニュースおよび企業情報システムの導入や運用等の意思決定に資する情報	IT業界関係者、企業の情報システム責任者および管理者
	「ITmedia ビジネスオンライン」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/business/">https://www.itmedia.co.jp/business/</a>	時事ニュースの解説、仕事効率向上に役立つ情報	20～30代ビジネスパーソン



顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
産業テクノロジー分野	「MONOist」 <a href="https://monoist.atmarkit.co.jp/">https://monoist.atmarkit.co.jp/</a> 「EE Times Japan」 <a href="https://eetimes.jp/">https://eetimes.jp/</a> 「EDN Japan」 <a href="https://ednjapan.com/">https://ednjapan.com/</a>	エレクトロニクス分野の最新技術解説並びに会員サービス	エレクトロニクス関連の技術者
	「BUILT」 <a href="https://built.itmedia.co.jp/">https://built.itmedia.co.jp/</a>	建築・建設分野の最新技術解説並びに会員サービス	建築・建設業界の実務者
	「スマートジャパン」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/">https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/</a>	節電・蓄電・発電のための製品検討や導入に役立つ情報	企業や自治体の総務部、システム部、小規模工場経営者
コンシューマー分野	「ITmedia Mobile」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/mobile/">https://www.itmedia.co.jp/mobile/</a> 「ITmedia PC USER」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/pcuser/">https://www.itmedia.co.jp/pcuser/</a> 「Fav-Log」 <a href="https://www.itmedia.co.jp/fav/">https://www.itmedia.co.jp/fav/</a>	パソコン、スマートフォン、AV機器等デジタル関連機器の製品情報、活用情報	デジタル関連機器等の活用に積極的な消費者
	「ねとらぼ」 <a href="https://nlab.itmedia.co.jp/">https://nlab.itmedia.co.jp/</a>	ネット上の旬な話題の提供	インターネットユーザー

・当第2四半期における掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

「仕事はなくなり、単価はたたかれ、妹の結婚式にも出席できない：

リーマンショックの生還者が語る、アフターコロナに訪れるSI不景気蟻地獄 @IT 2020年7月20日公開  
ポストコロナのIT業界とエンジニアの生き残り術を模索する特集「ポストコロナのIT業界サバイバル術」。  
第1弾は、リーマンショック、東日本大震災後の不景気地獄を知恵と技術力で生き抜いてきたソルジャーエンジニアが、SI業界にこれから何が起ころのか、そのときエンジニアはどうすればいいのか、を語ります。

<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/2007/20/news013.html>

「MONOist/EE Times Japan/EDN Japan読者調査：

新型コロナ影響が2カ月で拡大、在宅勤務やコミュニケーションに課題も」 MONOist 2020年6月2日公開  
MONOist、EE Times Japan、EDN Japanのアイティメディア製造業向け3媒体は「新型コロナウイルス感染症のモノづくりへの影響に関するアンケート調査」を実施した。調査は2020年3月に続いて2度目で、欧米での感染拡大を受けた市場の混乱、在宅勤務の拡大などによる業務の変化などの影響が表れた。

<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2006/02/news050.html>

「特集 アフターコロナ 仕事はこう変わる」 ITmedia ビジネスオンライン

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、業務の進め方を見直す企業が増えている。営業、在宅勤務、出張の是非、新たなITツール活用——先進的な取り組みや試行錯誤をしている企業の事例から、仕事のミライを考えていく。

<https://www.itmedia.co.jp/business/subtop/features/aftercorona/index.html>

「「どんなときもWiFi」は何が問題だったのか？ サポートの側面から考える」 ITmedia Mobile 2020年8月28日公開

グッド・ラックが、モバイルデータ通信サービス「どんなときもWiFi」の無制限プランを2020年10月31日に終了する。

<https://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/2008/28/news053.html>

「ネット激震の「邪悪」な主人公はこうして生まれた 『連ちゃんパパ』 作者・ありま猛インタビュー」 ねとらぼ 2020年6月14日公開

『連ちゃんパパ』のモデルはあの人だった……！

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2006/14/news005.html>

「何も食べなかったら痩せるのは当たり前」 14.7キロ減量のしゅはまはるみが思う“女性にとっていいからだ”」 ねとらぼエンタ 2020年8月11日公開

“RIZAP史上最高” ボディーのその後。

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2008/11/news106.html>

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は83億77百万円（前連結会計年度比11億42百万円増）となりました。主な増減の内訳は、現金及び現金同等物の増加6億34百万円、営業債権及びその他の債権の増加74百万円、その他の流動資産の減少35百万円、使用権資産の減少1億14百万円、その他の金融資産の増加7億10百万円および繰延税金資産の減少1億21百万円であります。

負債合計は15億66百万円（同2億18百万円増）となりました。主な増減の内訳は、営業債務及びその他の債務の減少28百万円、リース負債の減少1億17百万円、未払法人所得税の増加71百万円、その他の流動負債の増加1億93百万円および繰延税金負債の増加1億2百万円であります。

資本合計は68億11百万円（同9億24百万円増）となりました。主な増減の内訳は、利益剰余金の増加4億36百万円およびその他の包括利益累計額の増加4億87百万円であります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より6億34百万円増加し、49億36百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は9億67百万円となり、前年同四半期と比べ4億62百万円増加いたしました。主な内訳は、継続事業からの税引前四半期利益8億27百万円、減価償却費及び償却費1億64百万円の計上、営業債権及びその他の債権の減少によるキャッシュ・フローの減少74百万円および法人所得税の支払額1億99百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は95百万円となり、前年同四半期と比べ36百万円減少いたしました。主な内訳は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出23百万円および持分法で会計処理されている投資の取得による支出72百万円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は2億36百万円となり、前年同四半期と比べ58百万円減少いたしました。主な内訳は、配当金の支払額1億18百万円およびリース負債の返済による支出1億17百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上期の業績は、テクノロジー市場の活況、オンラインメディア利用の増加、企業のマーケティング活動のオンラインシフト加速などの新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとした社会環境の変化が明らかな追い風となり、売上収益、営業利益ともに過去最高となるなど好調に推移いたしました。特に当第2四半期連結会計期間は、当社最大のバーチャル展示会「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」が出演社数・来場者数ともに過去最大規模に成長したことで、全四半期を通して過去最高の業績となりました。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期、経済情勢の先行きは不明瞭であります。現時点においては上期からの良好なトレンドは継続をしていることから、通期連結業績予想を修正しております。

・通期業績予想の修正

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2020年7月31日公表)	百万円 5,888	百万円 1,482	百万円 950	円 銭 47.93
今回修正予想 (B)	6,380	1,730	1,120	56.51
増減額 (B-A)	+492	+248	+170	
増減率 ( % )	+8.4	+16.7	+17.9	
(参考) 前期実績 (C) (2020年3月期)	5,278	1,172	780	39.51
(参考) 前年増減額 (B-C)	+1,101	+557	+339	
(参考) 前年増減率 ( % )	+20.9	+47.6	+43.5	

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,302,014	4,936,947
営業債権及びその他の債権	803,053	877,627
その他の金融資産	500,008	500,008
棚卸資産	9,814	12,390
その他の流動資産	83,743	48,599
流動資産合計	5,698,634	6,375,573
非流動資産		
有形固定資産	157,857	146,131
使用権資産	229,082	114,541
のれん	415,719	415,719
無形資産	277,958	251,669
持分法で会計処理されている投資	36,085	65,865
その他の金融資産	296,061	1,006,797
繰延税金資産	121,517	—
その他の非流動資産	2,166	1,297
非流動資産合計	1,536,450	2,002,022
資産合計	7,235,085	8,377,595
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	267,026	238,443
リース負債	218,001	102,252
未払法人所得税	199,923	271,485
その他の流動負債	588,347	782,020
流動負債合計	1,273,298	1,394,201
非流動負債		
リース負債	7,373	5,129
引当金	38,600	38,600
繰延税金負債	—	102,080
その他の非流動負債	28,505	26,266
非流動負債合計	74,478	172,076
負債合計	1,347,777	1,566,277
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,735,570	1,735,570
資本剰余金	1,824,058	1,824,058
利益剰余金	2,612,258	3,049,192
自己株式	△344,454	△344,517
その他の包括利益累計額	59,874	547,012
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,887,308	6,811,317
資本合計	5,887,308	6,811,317
負債及び資本合計	7,235,085	8,377,595

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>継続事業</b>		
売上収益	2,440,040	3,103,482
売上原価	967,915	1,093,084
売上総利益	1,472,125	2,010,397
販売費及び一般管理費	982,572	1,141,174
その他の営業損益	465	308
営業利益	490,018	869,531
その他の営業外損益(△は費用)	△97,888	30
持分法による投資損益(△は損失)	△37,968	△42,220
税引前四半期利益	354,161	827,341
法人所得税	127,709	271,489
継続事業からの四半期利益	226,452	555,851
<b>非継続事業</b>		
非継続事業からの四半期利益	93,476	—
四半期利益	319,928	555,851
<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	318,077	555,851
非支配持分	1,851	—
	319,928	555,851
<b>親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益</b>		
基本的1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	11.50	28.05
非継続事業	4.65	—
基本的1株当たり四半期利益合計	16.15	28.05
<b>希薄化後1株当たり四半期利益(円)</b>		
継続事業	11.45	28.05
非継続事業	4.63	—
希薄化後1株当たり四半期利益合計	16.08	28.05

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	319,928	555,851
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの資本性金融資産	△86,339	487,138
純損益に振り替えられることのない項目合計	△86,339	487,138
その他の包括利益(税引後)合計	△86,339	487,138
四半期包括利益合計	233,588	1,042,990
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	231,737	1,042,990
非支配持分	1,851	—
	233,588	1,042,990

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2019年4月1日	1,709,272	1,798,192	2,054,062	△344,414	185,347	5,402,461	△34,905	5,367,556
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	318,077	—	—	318,077	1,851	319,928
その他の包括利益	—	—	—	—	△86,339	△86,339	—	△86,339
四半期包括利益合計	—	—	318,077	—	△86,339	231,737	1,851	233,588
所有者との取引額等								
新株の発行	26,298	25,866	—	—	—	52,164	—	52,164
剰余金の配当	—	—	△116,973	—	—	△116,973	—	△116,973
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	13,508	—	—	13,508	33,053	46,562
所有者との取引額等合計	26,298	25,866	△103,464	—	—	△51,300	33,053	△18,247
2019年9月30日	1,735,570	1,824,058	2,268,675	△344,414	99,008	5,582,898	—	5,582,898

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額		
2020年4月1日	1,735,570	1,824,058	2,612,258	△344,454	59,874	5,887,308	5,887,308
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	555,851	—	—	555,851	555,851
その他の包括利益	—	—	—	—	487,138	487,138	487,138
四半期包括利益合計	—	—	555,851	—	487,138	1,042,990	1,042,990
所有者との取引額等							
剰余金の配当	—	—	△118,917	—	—	△118,917	△118,917
自己株式の取得	—	—	—	△63	—	△63	△63
所有者との取引額等合計	—	—	△118,917	△63	—	△118,980	△118,980
2020年9月30日	1,735,570	1,824,058	3,049,192	△344,517	547,012	6,811,317	6,811,317



(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	354,161	827,341
非継続事業からの税引前四半期利益	53,321	—
減価償却費及び償却費	162,836	164,326
持分法による投資損益	37,968	42,220
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加額)	10,003	△74,574
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少額)	△67,912	△16,521
その他	78,330	224,823
小計	628,709	1,167,615
利息及び配当金の受取額	719	171
利息の支払額	△174	△129
法人所得税の支払額	△124,486	△199,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	504,767	967,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	—	△23,830
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△44,000	△72,000
支配喪失を伴う子会社株式の売却による支出	△15,743	—
その他	649	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,094	△95,830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株の発行による収入	52,164	—
自己株式の取得による支出	—	△63
配当金の支払額	△116,654	△118,911
リース負債の返済による支出	△114,137	△117,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,628	△236,967
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	267,045	634,932
現金及び現金同等物の期首残高	3,383,007	4,302,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,650,052	4,936,947

(5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

「リードジェン事業」は、会員制メディアおよび各メディアのデジタルイベントを通じて企業におけるIT製品・サービスの導入・購買に関する支援や情報提供サービスを行っております。

「メディア広告事業」は、IT&ビジネス分野、産業テクノロジー分野、コンシューマー分野に関して、専門性の高い情報をユーザーに提供し、主に広告商品を企画・販売・掲載するための各メディアの企画・運営・情報掲載サービスの提供およびその他の法人向けサービスの提供を行っております。

各報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、「営業利益」であります。セグメント利益の算定にあたっては、特定の報告セグメントに直接関連しない費用を、最も適切で利用可能な指標に基づき各報告セグメントに配分しております。セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下の通りです。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	1,040,187	1,399,853	2,440,040	—	2,440,040
セグメント間の売上高	—	420	420	△420	—
合計	<u>1,040,187</u>	<u>1,400,273</u>	<u>2,440,460</u>	<u>△420</u>	<u>2,440,040</u>
セグメント利益	<u>195,853</u>	<u>294,164</u>	<u>490,018</u>	<u>—</u>	<u>490,018</u>
その他の営業外損益（△は費用）					△97,888
持分法による投資損益（△は損失）					△37,968
税引前四半期利益					<u>354,161</u>

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	1,427,547	1,675,935	3,103,482	—	3,103,482
セグメント間の売上高	—	430	430	△430	—
合計	<u>1,427,547</u>	<u>1,676,365</u>	<u>3,103,912</u>	<u>△430</u>	<u>3,103,482</u>
セグメント利益	<u>367,391</u>	<u>502,140</u>	<u>869,531</u>	<u>—</u>	<u>869,531</u>
その他の営業外損益（△は費用）					30
持分法による投資損益（△は損失）					△42,220
税引前四半期利益					<u>827,341</u>